

## 第4章 授業外活動

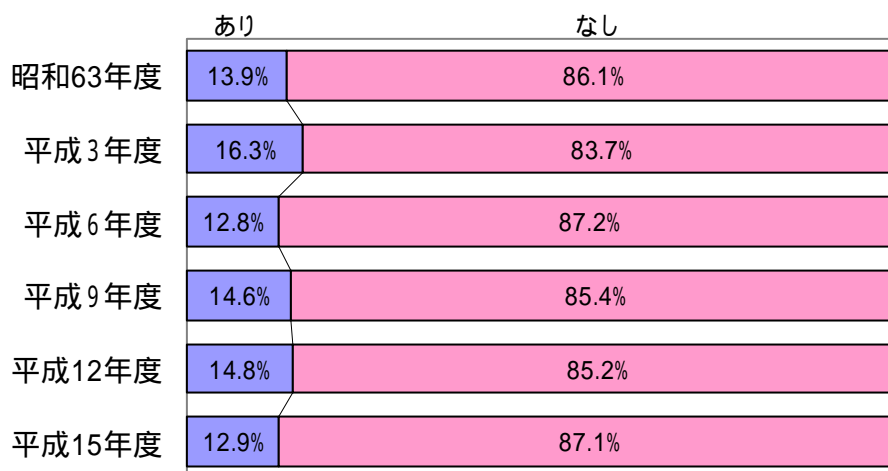
### 1. 大学以外の勉学

#### (1) 大学以外の勉学の有無

学外の各種学校・塾に通った経験のある人は、12.9%である。

大学入学以来、知識・技術や資格取得のために学外の各種学校・塾などに通った経験があるという人は、平成6年度以降増加傾向にあったが、今回の結果では12.9%にまで低下した。昭和63年度から経年変化をみると、年度によりやや変動があるものの全体としては大きな変化はみられないが、今回の調査結果には、ここ数年間の経済情勢が影響しているのかも知れない。

図4-1 学外の各種学校・塾などに通った経験の有無



(2) 学部別大学以外の勉学の有無

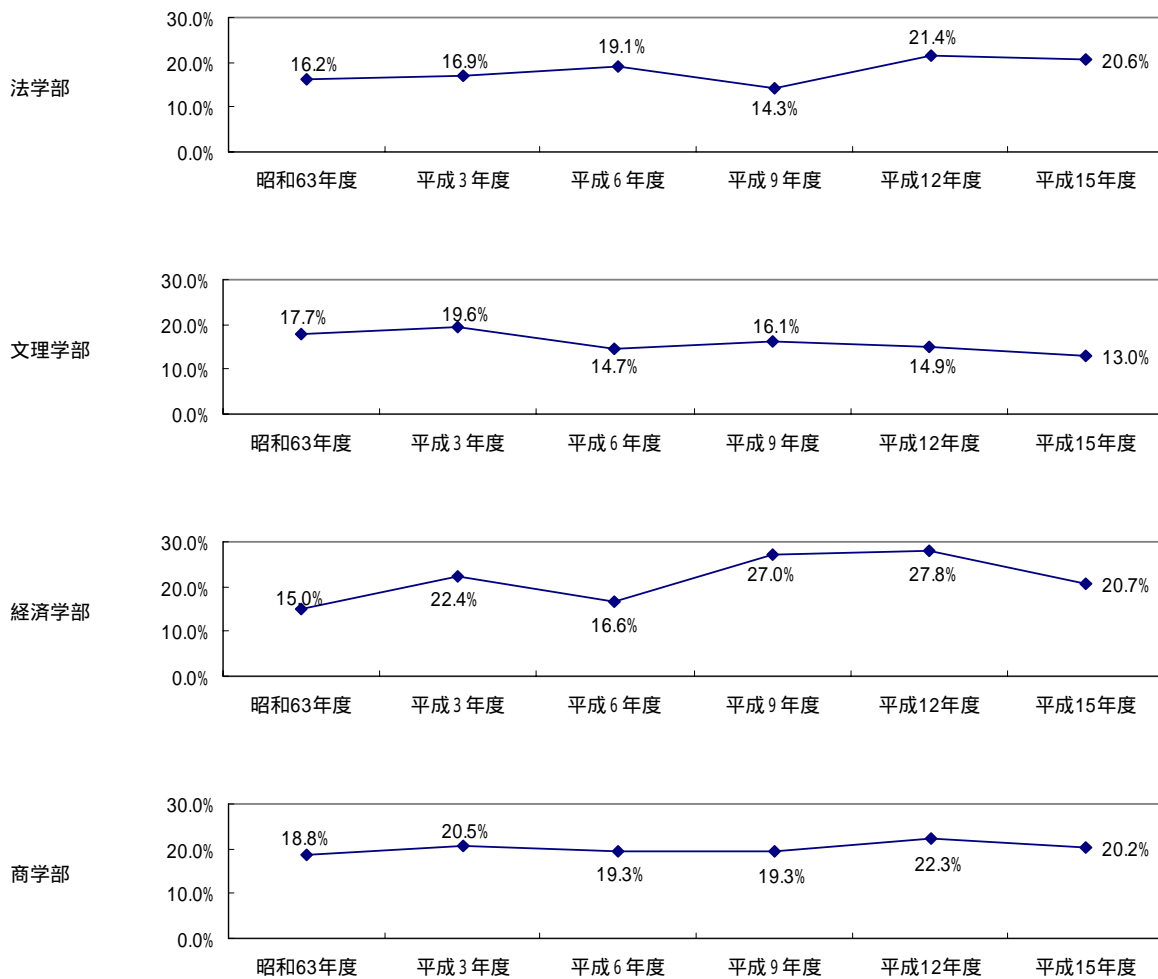
大学以外の勉学経験のある者の比率が高いのは、経済学部、商学部および法学部である。全学部で低下した。

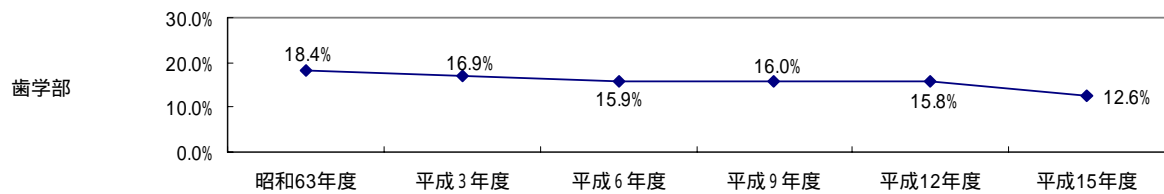
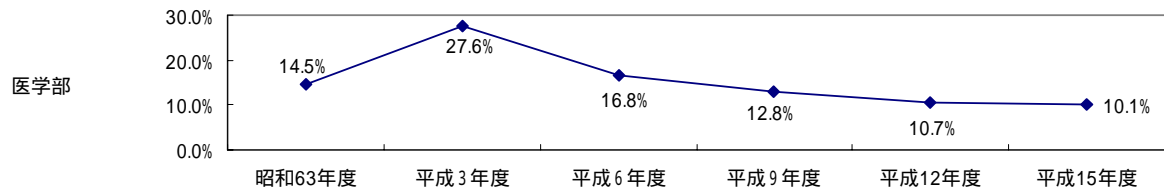
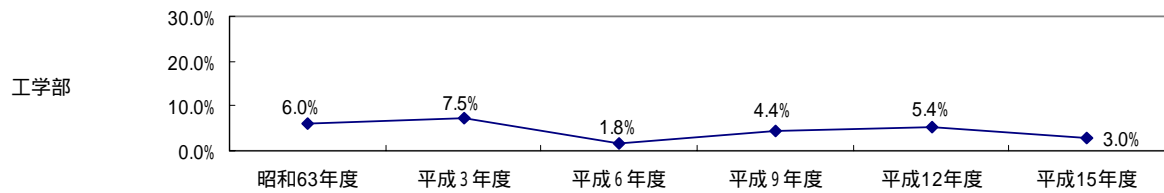
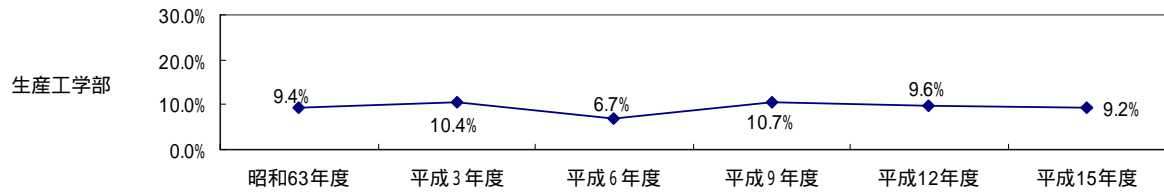
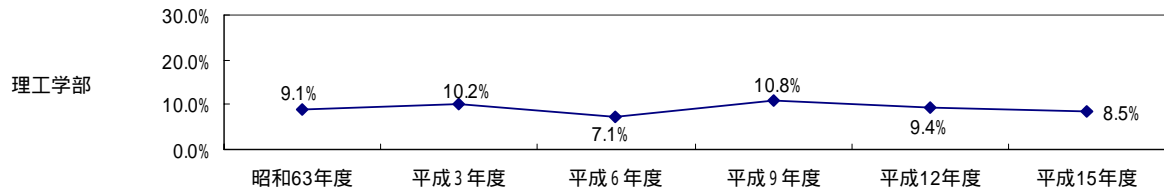
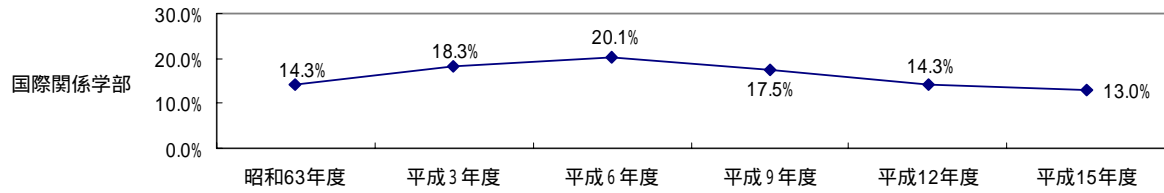
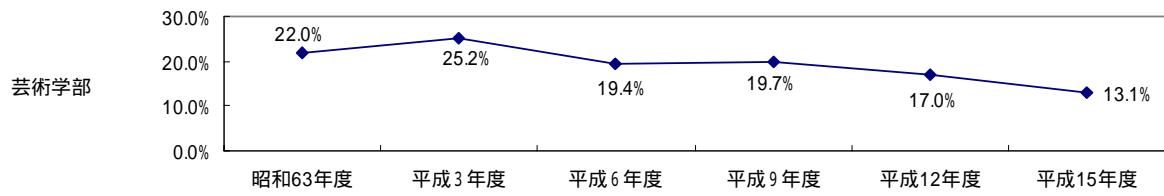
大学以外の勉学経験のある者の比率が高い上位3学部は、経済学部（20.7%）、法学部（20.6%）および商学部（20.2%）で、難易度の高い国家試験の受験資格が与えられる学部といえる。

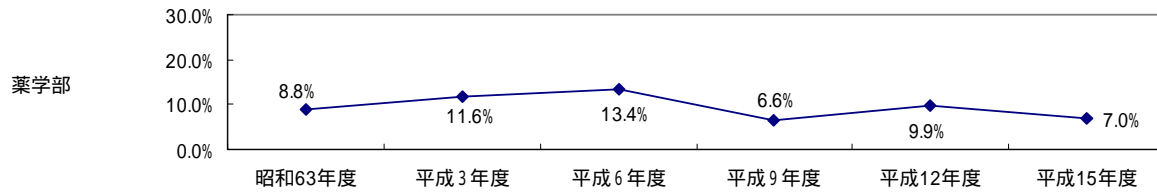
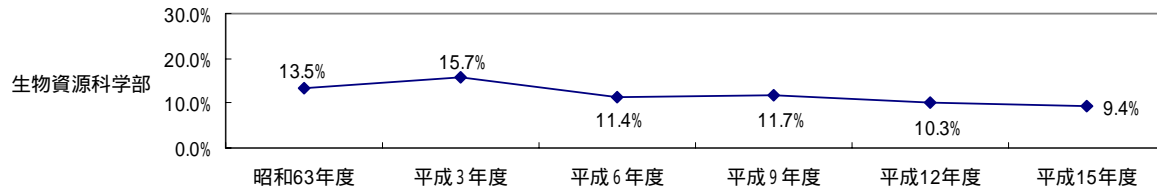
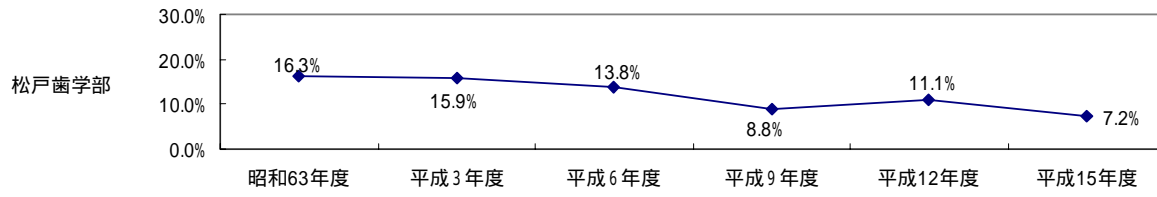
反対に、経験が少ないのは、工学部（3.0%）、薬学部（7.0%）、松戸歯学部（7.2%）および理工学部（8.5%）等、授業が比較的厳格な学部である。

学部別に経年変化をみると、平成12年度までは経済学部でやや増加傾向がみられ、他の学部は概ね横ばい状態にあったものの、平成15年度は全学部で前回の結果を下回る結果となっている。

図4 - 2 学部別学外の各種学校・塾に通った経験の有無（経年変化）







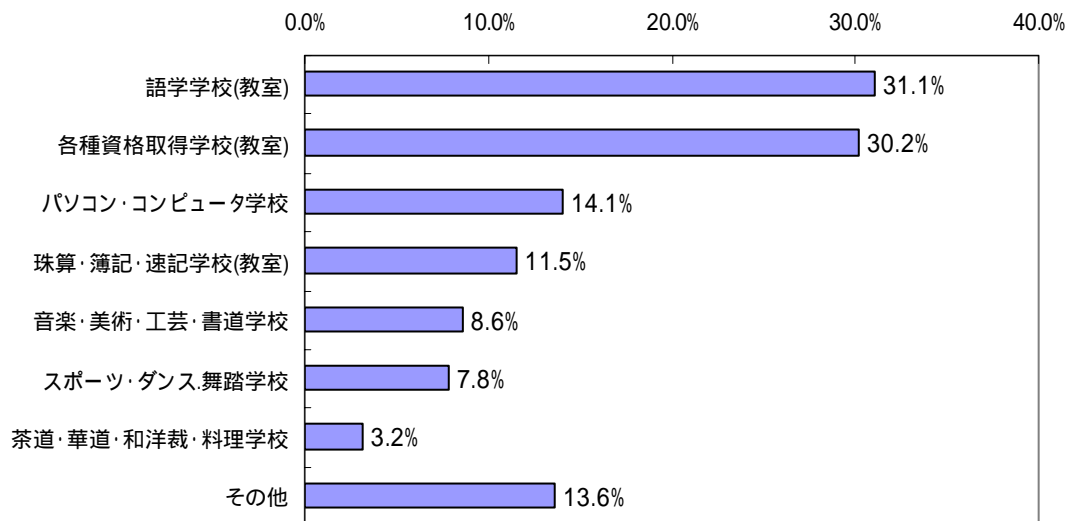
(3) 各種学校・塾の種類（経験のある者）

「語学学校（教室）」が最も多く、31.1%を占めている。

全体では、「語学学校(教室)」が31.1%で最も多く、次いで「各種資格取得学校(教室)」が30.2%、「パソコン・コンピュータ学校」が14.1%と続いている。

全体的には他の学校で学ぶ学生は減少したが、その中でも語学教室や各種資格取得学校へ通った経験のある学生は、前回の比率を上回っている。技術・技能、趣味的学習が減少し、就職・仕事に対する学生の考えが反映されているものと思われる。

図4-3 各種学校・塾の種類(複数回答)



(4) 学部別各種学校・塾の種類

大学以外の勉強経験のある者の比率が高い経済学部、商学部および法学部では、各種資格取得学校（教室）の経験者が多い。

大学以外の勉強経験のある者の比率が高い経済学部、商学部および法学部では、「各種資格取得学校（教室）」の経験者が多く、法学部（60.5%）、経済学部（35.3%）、商学部（33.8%）となっている。

また「語学学校（教室）」については、医学部（50.0%）、国際関係学部（47.4%）、歯学部（42.9%）等で経験者が多い。

その他では、経済学部や商学部で珠算・簿記・速記学校（教室）」が多く、芸術学部の場合は「音楽・美術・工芸・書道学校」（35.9%）が多い。

表4-1 各種学校・塾の種類（経験のある者）

（単位：％）

学部 \ 項目	語学学校（教室）	（各教室資格取得学校）	コパソピコユニータ学校	学珠校算（・教簿室記）・速記	・音書楽道・学美術校術・工芸	和茶洋道裁・華料道理・学校	・ス舞ポ踏一学ツ校・ダンス	その他
全体	31.1	30.2	14.1	11.5	8.6	3.2	7.8	13.6
法学部	19.8	60.5	11.1	7.4	2.5	2.5	0.0	8.6
文理学部	44.8	14.9	24.1	5.7	11.5	3.4	9.2	23.0
経済学部	25.8	35.3	11.8	27.5	2.0	3.9	3.9	7.8
商学部	29.4	33.8	8.8	26.5	1.5	0.0	5.9	10.3
芸術学部	20.5	7.7	5.1	0.0	35.9	0.0	17.9	28.2
国際関係学部	47.4	18.4	16.8	3.9	13.2	9.2	6.6	13.2
理工学部	38.1	27.0	17.5	6.3	4.8	3.2	9.5	17.5
生産工学部	27.8	25.9	14.8	5.6	13.0	3.7	9.3	11.1
工学部	22.2	44.4	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1
医学部	50.0	12.5	6.3	6.3	18.8	0.0	25.0	6.3
歯学部	42.9	10.7	17.9	3.6	21.4	10.7	21.4	10.7
松戸歯学部	31.6	5.3	15.8	0.0	15.8	10.5	26.3	15.8
生物資源科学部	36.7	13.3	16.7	3.3	11.7	5.0	15.0	11.7
薬学部	33.3	6.7	13.3	0.0	33.3	6.7	26.7	20.0

(5) 学外での勉強をする気になった理由

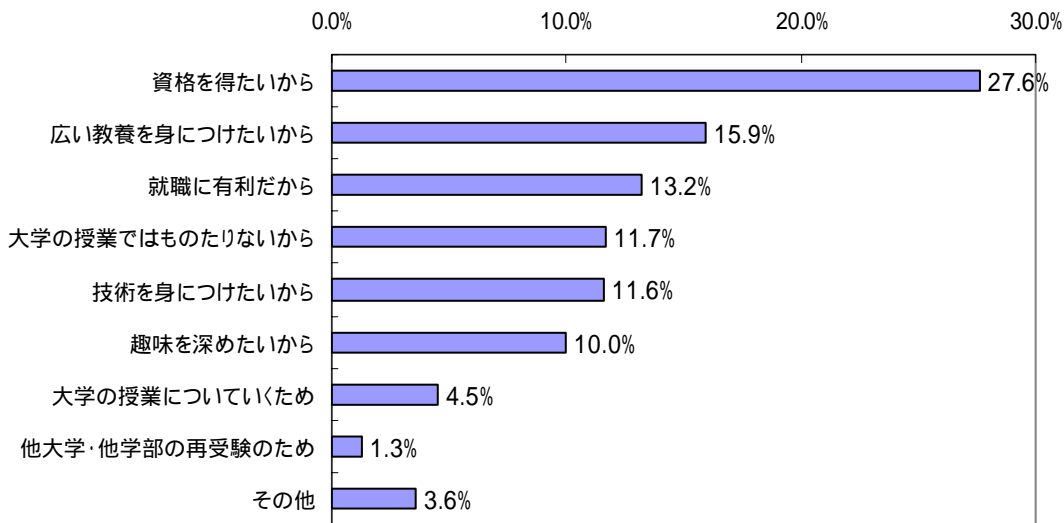
学外勉強の理由として最も多いものは、「資格を得たいから」という理由である。

学外での勉強をする気になった理由をみると、「資格を得たいから」(27.6%)、「広い教養を身につけたいから」(15.9%)、「就職に有利だから」(13.2%)が上位3項目である。

前回(平成12年度)との変化は、「就職に有利だから」と考える学生が増えてきたこと、さらに「大学の授業についていくため」という学生が約5%近くにまで増えたことである。

学部別にみると(詳細表4-2)、「資格を得たいから」という理由を多くあげている学部は、法学部(39.5%)、商学部(36.8%)、経済学部(37.3%)、工学部(33.3%)である。また、「広い教養を身につけたいから」という理由は歯学部で多く、35.7%を占めている。「就職に有利だから」という理由は法学部(23.5%)で多くなっており「大学の授業ではものたりないから」という理由は、工学部(33.3%)や国際関係学部(25.0%)で多くなっている。

図4-4 学外での勉強をする気になった理由



< 参 考 >

表4 - 2 学部別学外での勉強をする気になった理由（上位6項目）

（単位：％）

学 部 \ 項 目	資 格 を 得 た い か ら	た 広 い か 教 ら 養 を 身 に つ け	就 職 に 有 利 だ か ら	た 大 り 学 な い 授 か 業 ら で は も の	か 技 ら 術 を 身 に つ け た い	趣 味 を 深 め た い か ら
全 体	27.6	15.9	13.2	11.7	11.6	10.0
法学部	39.5	11.1	23.5	11.1	6.2	2.5
文理学部	13.8	19.5	12.6	10.3	17.2	12.6
経済学部	37.3	15.7	17.6	9.8	9.8	3.9
商学部	36.8	16.2	14.7	10.3	4.4	10.3
芸術学部	12.8	17.9	10.3	10.3	20.5	15.4
国際関係学部	9.2	23.7	10.5	25.0	11.8	7.9
理工学部	30.2	9.5	9.5	14.3	14.3	11.1
生産工学部	25.9	16.7	3.7	7.4	16.7	16.7
工学部	33.3	11.1	-	33.3	11.1	-
医学部	12.5	25.0	-	12.5	18.8	6.3
歯学部	3.6	35.7	-	-	14.3	39.3
松戸歯学部	21.1	10.5	5.3	-	5.3	31.6
生物資源科学部	18.3	16.7	5.0	11.7	13.3	18.3
薬学部	20.0	20.0	-	6.7	13.3	33.3



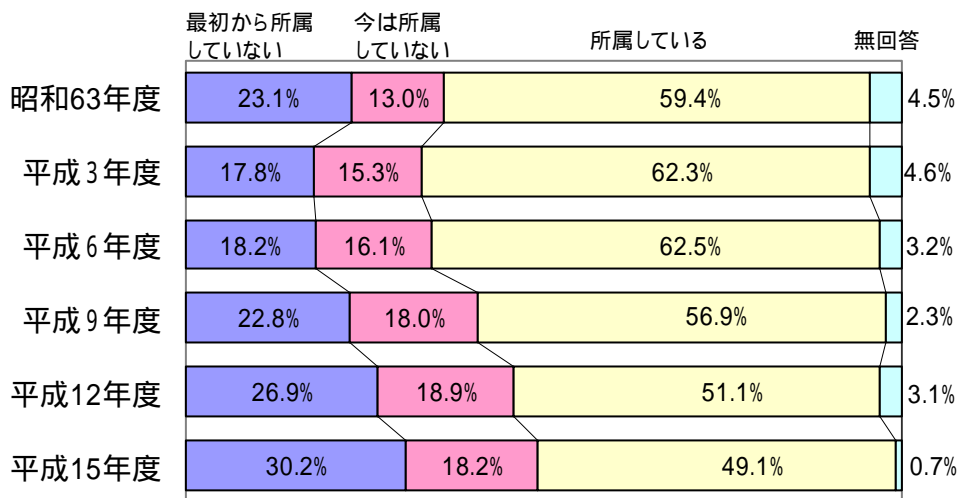
## 2. 課外活動（クラブ・サークル）

### (1) 参加の有無に関する経年変化

クラブ・サークルに参加する人が、平成6年度以降減少傾向、半数を割る。

クラブ・サークルに参加している者の比率を経年変化で見ると、平成3年度（62.3%）、平成6年度（62.5%）、平成9年度（56.9%）、平成12年度（51.1%）、平成15年度（49.1%）と平成3年度以降は減少傾向にあり、今回の調査結果で半数を割ることになった。

図4-5 クラブ・サークルへの参加の有無に関する経年変化



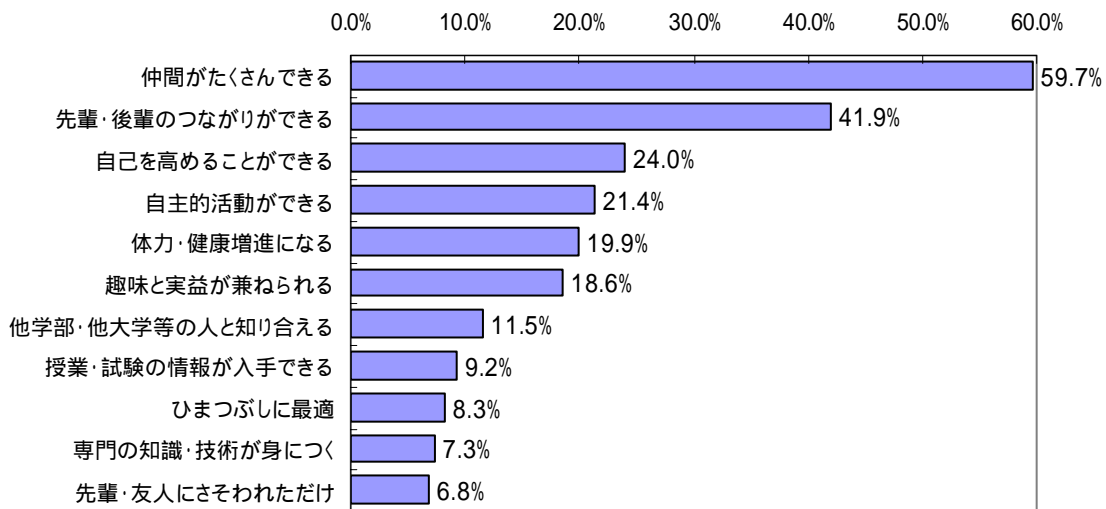
(2) クラブ・サークルに参加する理由（現在「参加している」者）

クラブ・サークルに参加する理由で最も多いのは、「仲間がたくさんできる」である。

クラブ・サークルに参加する理由は、「仲間がたくさんできる」（61.3%）と「先輩・後輩のつながりができる」（38.5%）が上位2項目である。

参加している理由は、「仲間がたくさんできる」「先輩・後輩のつながりができる」が2大理由となっている。次いで、「自己を高める」「自主的活動ができる」「体力・健康増進」等の自己に関する理由が2群として位置している。

図4-6 クラブ・サークルに参加する理由(3つ以内の複数回答)  
-出現率5%以上のもの-(経年変化)

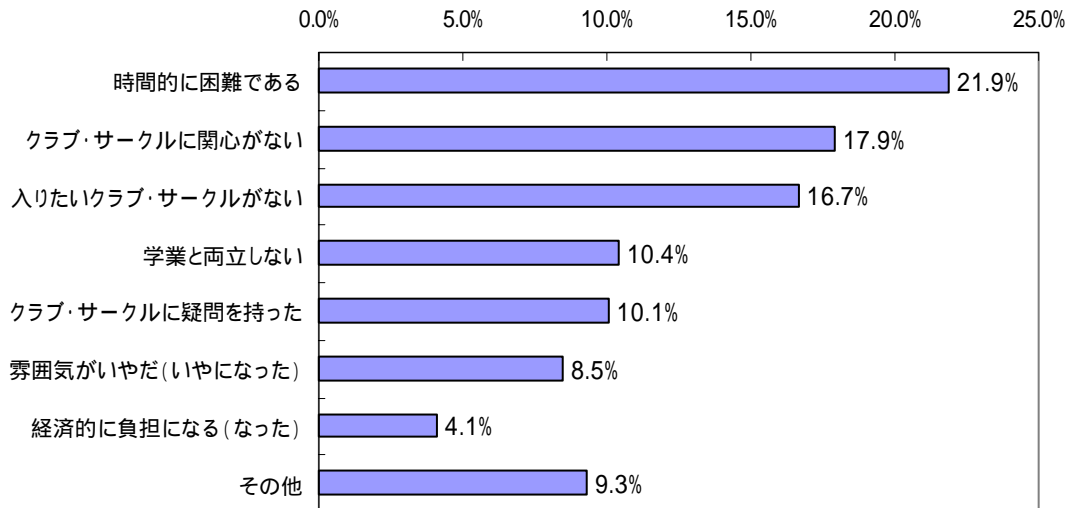


(3) クラブ・サークルに参加しない理由（現在「参加していない」者）

「時間的に困難である」、「クラブ・サークルに関心がない」という理由で、クラブ・サークルに参加しない人が年々増えている。

クラブ・サークルに参加しない主な理由は、「時間的に困難である」(21.9%)、「クラブ・サークルに関心がない」(17.9%)、「入りたいクラブ・サークルがない」(16.7%)が上位3項目である。この3項目は、現存するクラブ・サークルを最初から拒否するもので合計すると半数を超えている。したがって、全体の学生の約半数がクラブ・サークルに所属しておらず、その中、半数以上(全体の約25%に相当)の学生が、クラブ・サークルに対して拒否的な態度を示している。

図4-7 クラブ・サークルに参加しない理由(3つ以内の複数回答)  
-経年変化-



### 3. 学生主体行事への参加の程度

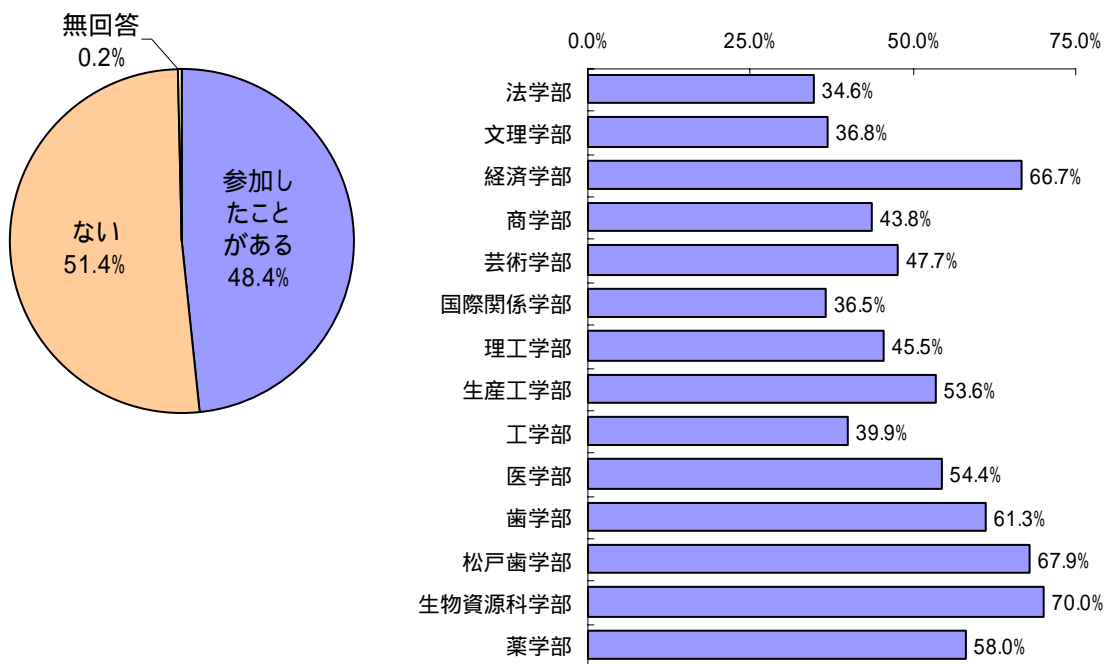
#### (1) 参加程度

NU祭、学部祭、体育大会等の行事への参加と程度を見ると、約半数の学生が参加をしているが、その程度は学部により多きな差がある。

法学部(34.6%)、国際関係学部(36.5%)、文理学部(36.8%)、工学部(39.9%)で参加した学生の比率が低い。

一方、生物資源学部(70.0%)、松戸歯学部(67.9%)、経済学部(66.7%)、歯学部(61.3%)で参加する学生の比率が高かった。

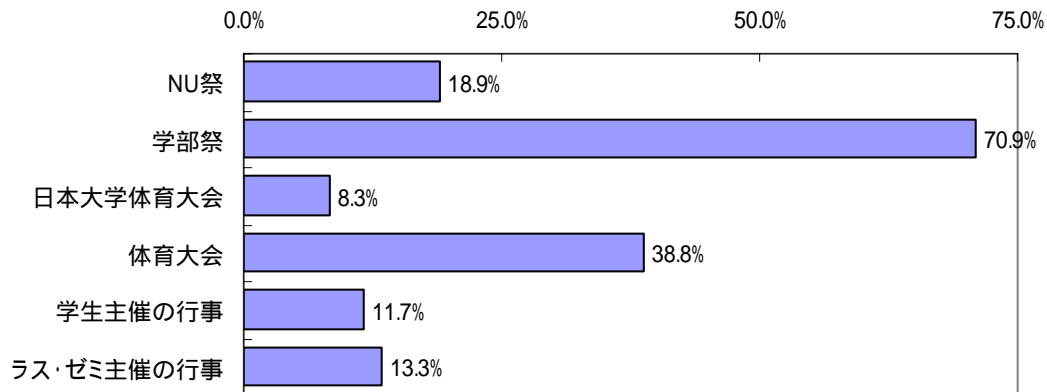
図4 - 8 学生主体行事への参加の程度



(2) 行事の種類と参加の程度

各行事への参加の程度をみると、学生の参加経験が最も高いのは学部祭（70.9%）、体育大会（38.8%）、NU祭（18.9%）の順になっている。学部祭、体育祭以外の行事は全て20%以下の参加経験となっている。

図4-9 各行事と学生の参加経験



参加したことがない理由をたずねた結果は、「興味がない」（28.8%）と回答した学生が4人中1人を超え、「まだ、行事がない」（20.7%）という学生が5人に1人を占めている。

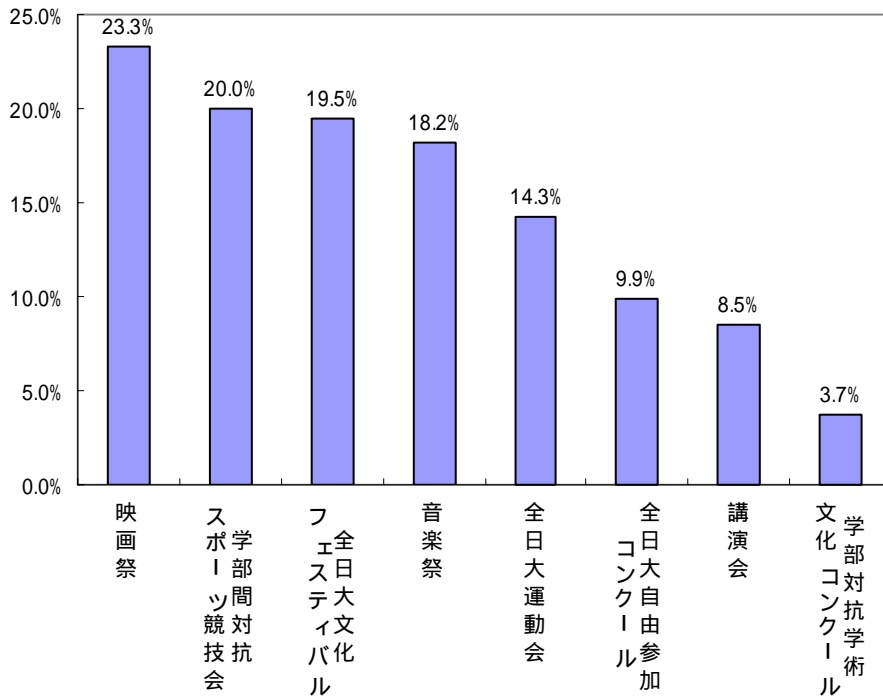
興味がない	関わりたくない	つまらない	面倒	友達がいらない	アルバイトで忙	暇がない	知らなかった	がまだいい、その行事	その他
28.8%	2.3%	5.2%	7.5%	1.5%	3.9%	9.7%	9.8%	20.7%	7.1%

(3) 学部間交流促進行事として参加したい行事

学部間の交流を図る行事として、学生に参加したい行事をたずねた結果、最も参加意向が高いのは、「映画祭」(23.3%)で、次いで「学部間対抗スポーツ競技会」(20.0%)、「全日大文化フェスティバル」(19.5%)、「音楽祭」(18.2%)、「全日大運動会」(14.3%)の順であった。

女子学生の場合、男子学生よりも映画、音楽、文化フェスティバル等の「文化的」な行事に参加したいという意向が多くみられる。

図4-10 学部間交流促進行事として参加したい行事(2つ以内の複数回答)  
-経年変化-



(単位：%)

男子学生	20.2	21.7	17.5	16.9	13.9	9.8	8.0	3.4
女子学生	27.2	16.7	21.6	20.2	15.5	9.4	9.0	3.7